



福津ふしぎ発見



大峰山にある 日本海海戦記念碑

渡区の大峰山山頂には日本海海戦に関する記念碑が建っています。今月はこの記念碑を紹介します。



▲記念碑からは市内や玄界灘を一望できます

1905年の日本海海戦は日露戦争を終結させる決め手となった戦いです。最初の合戦は、沖ノ島のある対馬海峡で行われました。

津屋崎在住の安部正弘氏は、この海戦の総指揮官、東郷平八郎元帥と親交があり、この偉業に感銘し、1922年、日本海海戦記念碑や東郷神社などの建設を計画しました。

1934年6月27日、東郷が死去した22日後、日本海海戦記念碑の除幕式が行われました。記念碑は、軍艦の艦橋を模したもので、碑文は東郷元帥の自筆で書かれています。

しかし太平洋戦争の敗戦後、当時、記念碑や神社などに設置されていた主砲や武器などは一部を除いて占領軍の命令で処分されました。

現在は、東郷神社に処分を免れた主砲の一部が残されており、神社の宝物館には、日露戦争当時の貴重な資料が展示されています。

